

主将の一本勝利呼ぶ

成年男子 内容で東京突き放す



柔道競技で総合優勝し、選手らに胴上げされる高浜久和監督＝県武道館で

(愛知県武道館)

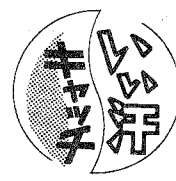
▽成年男子一回戦	愛知 2-0 神奈川
▽成年男子二回戦	愛知 4-0 熊本
▽成年男子準々決勝	愛知 3-0 福岡
▽成年男子準決勝	愛知 2-0 香川
▽成年男子決勝	愛知 2-0 東京

内村 ③ 優勝 上野 ③

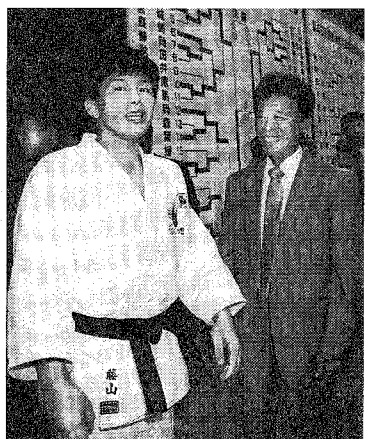


「柔の道」親子二人三脚

県武道館で行われた柔道成年男子で、一日、大府市出身の藤山茂選手(まむし)総合警備保障が愛知の優勝に貢献した。十七年前、同じ初心者から始めた父が見守る前で、相手選手を圧倒した。父・大工の洋一さん(まむし)は「息子と二緒に体を動か



晴れ舞台で恩返し、成年男子の藤山選手



優勝を喜ぶ藤山茂選手(左)と父親の洋一さん(右)名古屋市中港区の県武道館で

銀メダルを獲得した。両親は、どの試合でも欠かさず足を運んだ。この日も父母が会場二階で応援。試合が始まると、洋一さんは「油断するな。先に行け」と声を振り絞った。藤山選手は決勝で東京の選手と引き分けたものの、準決勝まで一本勝ちや優勢勝ちを取めた。藤山選手は「今まで諦めたいときもあったけれど、父はいつも厳しくしゃべってくれた。それがなければ、ぼくはここにはいなかった」。親子で始めた柔(やわら)の道。二人の大きな目標は、二年後のアトランタ五輪へ向けられている。

習ってきたので、涙が出てきてしまいました。前日の成年女子に続いて優勝を飾った成年男子チームの中堅、近藤克幸主将(まむし)は喜びに声を弾ませた。東京での決勝では、送り標絞めで一本勝ち。最終の対戦成績は2-2の1分けとなった。が、この一本勝ちでのポイントが効いて、愛知に勝利を呼び込んだ。「みんなの足を引っ張らないように気を引き締めた」

藤山 ② 引き分け 土屋 ③ 近藤 ④ 送り標 甲斐 ④ 阪部 ④ 優勝 秋山 ⑤ 深井 ③ 優勝 三谷 ④ (愛知は通算28年ぶり3度目、成年で初優勝) 天皇杯得点 ①愛知1-15

出げいこ実り 有終の美飾る 近藤主将

「この大会に合わせて練

「この日は教え子の卒業生何人かが応援に駆けつけていた。これ以上気持ちが集まらなくなるとは、満足です」と、十七年間の競技生活に別れを告げた。

「この大会に合わせて練習してきたので、涙が出てきてしまいました。前日の成年女子に続いて優勝を飾った成年男子チームの中堅、近藤克幸主将(まむし)は喜びに声を弾ませた。東京での決勝では、送り標絞めで一本勝ち。最終の対戦成績は2-2の1分けとなった。が、この一本勝ちでのポイントが効いて、愛知に勝利を呼び込んだ。みんなの足を引っ張らないように気を引き締めた」